

公表

事業所における自己評価総括表（保育所訪問支援）

○事業所名	子育て広場のびのびバレット		
○保護者評価実施期間	2024年12月4日		2024年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 4人
○従業者評価実施期間	2024年12月4日		2024年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	2024年12月4日		2024年12月26日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5事業所	(回答数) 5事業所
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種連携を重視し、保育所等のニーズに即したきめ細やかな支援を提供している。	保育士等や保護者との意見交換を反映した、子どもの特性や子どもを取り巻く現場の課題に即したオーダーメイドの支援を提供している。	他の地域資源との連携を強化して、子どもや保育所等がより多様な支援を受けられる仕組みを構築したい。
2	職員の専門性や知識と経験を活かし、発達支援に関する情報提供や援助技術に関する意見交換を行っている。	訪問支援後には、必ずフィードバックを行い、保育所等の意見を反映するための支援プロセスを意識している。	保護者支援の充実に向け、ワークショップなどを通じた情報提供に努め、家庭での取り組みも支援したい。
3	支援の質をさらに向上に資するため、研修機会を提供して職員のスキルアップを図っている。	保育所等との情報共有の機会を設定して、支援事例や課題解決の知見を共有している。	人材育成を目的とした、教育プログラムやOJTの充実によって、長期的な支援体制を維持していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の範囲が広がるとともに、職員一人ひとりの負担が大きくなって対応が十分に行き届かないケースがある。	保育所等との間や保護者との間での情報共有のタイミングや方法に課題を感じている。	職員のスキルアップ研修を定期的実施したい。また、職員間での定期的なケース検討会を実施し、経験や知識を共有化することで対応力の強化を図りたい。
2	多様化する保育所等の現場ニーズに対して、対応できる専門スキルの不足が懸念される。	情報の整理や共有に時間を要することがある。	保育所等や保護者からのフィードバックを取り入れた柔軟な支援プランの作成を心がけたい。
3	訪問回数や時間の制限があるため、訪問先のニーズに応えられない場合がある。	必要な情報がタイムリーに伝わらないケースがある	支援内容や訪問スケジュールを調整して、リソースの最適化に取り組みたい。